



1.30 被災地へ届けてね 大泉保育園から義援金

大泉保育園児から能登半島地震災害義援金が届けられました。5歳児クラス星組の園児12名を代表して、小林 瑞くん(6)から近泉副市長に手渡され、「支援したことを心に留めて優しい人に育ってください」とお礼を述べられました。

これは保育園と保護者らが、募金活動により集まった義援金を三好市から日本赤十字社を通じて被災地に届けて役立てて欲しい、と行われたものです。



2.7 色とりどりの宿 人を呼ぶ新たなきっかけに

2月7日、JR 四国が運営する「4S STAY 彩り旅宿 池田温泉横」の内覧会が開催されました。部屋名には「かずら橋」や「祖谷そば」、「吉野川」など徳島にちなんだ名前がつけられ、部屋名にちなんだ色合いでまとめられています。2月20日から開業されており、単身者でも気軽に泊まれる価格や設定に、今後より多くの方に三好市を訪れてもらうきっかけになると期待されます。



2.17 思い出語る 瀬尾まなほさん講演会

故 瀬戸内寂聴さんの元秘書 瀬尾まなほさんの講演会「出会いで人生変わる～寂聴さんに教えてもらったこと～」が池田総合体育館にて開催されました。

寂聴さんが徳島県出身ということもあり、関心度も高く多くの方が参加しました。寂聴さんの素のお人柄が感じられるとともに瀬尾さんが寂聴さんの応援を受けながら困難を乗り越え成長していく話に参加者は聞き入っていました。



2.11 みんなで楽しもう ゆるスポーツ ご当地ゆるスポーツが目白押し

池田総合体育館で三好市ゆるスポーツフェスタが開催されました。世界ゆるスポーツ協会が開発した「トントンボイス相撲」や三好市でラフティングをモチーフに開発した「ぼんぼこラフティング合戦」、池田小学校4年生が開発した「そば米ぞうすビー」、「しわしわ行きなよりレー」など9種目を体験することができました。参加者の方からは、「日常では体験することができないスポーツを体験することができた」、「当日知合った人ともチームを組んだが、ゆるスポーツを通して仲を深める事ができた」と感想がありました。

池田小学校4年生が開発した2種類のゆるスポーツは、世界ゆるスポーツ協会が主催する「第3回ご当地ゆるスポーツアワード」にも応募し、25件の応募の中から「そば米ぞうすビー」がグランプリ。「しわしわ行きなよりレー」が準グランプリに選ばれました。

イベント当日は、池田小学校4年生の児童も自分たちが開発したゆるスポーツのルール説明や審判なども行いました。また、池田高校本校のJRC部の生徒も運営に携わり、大人から子どもまで多世代が参加するイベントとなりました。



▲「そば米ぞうすビー」
フリスビーで具材を倒すとそば米雑炊の器に具材が追加されていく。必要な具材を全て倒すとそば米雑炊が完成。しかし、中には倒すとペナルティーが発生するものもある。

▼「しわしわ行きなよりレー」
かずら橋や野猿に見たてた障害物を超えてはれひめなどの特産品をしわしわ届けに行くリレー。特産品には点数が決まっていて対岸に届けた分だけ加算される。

祝
100歳

邊見 キヨ子 さん 三野町太刀野山



1月8日、三野町太刀野山の邊見キヨ子さんが満100歳を迎えられました。

三野町太刀野山で生まれ、23歳頃に結婚し、1男2女に恵まれました。若いころはたばこを作り、旦那さんが亡くなったからはなすび農家として働かれました。デイサービスが楽しみで、92歳頃まで利用されていました。現在は介護老人保健施設で楽しく過ごされています。

これからもお元気で過ごしてください。



2.20 自衛隊入隊予定者 若者たちに 激励

令和5年度三好市自衛隊入隊予定者激励会が三好市役所で行われました。

三好市から入隊するのは奥村拓矢さんと枝谷勇輝さんと、4月から松山駐屯地に入隊されます。家族会会長、市長および徳島地方協力本部長から暖かい激励の言葉と記念品が贈られ、お二人からは「自衛隊としての誇りを持って国民のみなさんのために頑張ります」と力強い決意の言葉を聞くことができました。



2.13 偉人の功績を 楽しく学ぼう DVD が寄贈

(公財) 藤井財団から偉人の功績を楽しく学べるDVD全12巻が、市内の放課後児童クラブに寄贈されました。

四国中央市出身の藤井勝典さんが設立した同財団では、未来ある子どもたちが様々な分野の偉人の功績に触れることで将来を考えるきっかけになれば、と全国の小学校などに寄贈されています。

このDVDは、心豊かな人材を育成していくために活用させていただきます。

